

株式会社 松山電子計算センター

地方発・定評のパッケージを Magic eDeveloper で開発

松山電子計算センターは、Magic eDeveloperを活用し、オリジナルのユニークな商品管理用と通販管理用のパッケージを開発しています。Magic eDeveloperの高い生産性がビジネスの強力な武器になっています。

脱オフコンから Magicを軸にPCパッケージの開発へ

愛媛県松山市に本社を置く松山電子計算センターは、1970年の設立当初は受託計算をビジネスの柱とし、その後富士通製オフコンの販売やオフコン用ソフトの開発へ進出しましたが、90年代のオフコン市場の縮退とPCの急速な台頭を受けて「脱オフコン」へ踏み切り、PCパッケージの自社開発・販売へ大きく事業転換した経歴を持ちます。そしてその時に、自社パッケージの開発ツールとして採用したのがMagic eDeveloperで、同社はその後、「地方発パッケージソフトの有力メーカー」として順調に発展していくことになります。開発ツールの選定にあたった中矢達也氏(開発部門統括ゼネラルマネージャー)は、当時を振り返って次のように語ります。

「オフコン時代はCOBOLを使いシステムを開発していました。しかし、PCベースのシステムともなれば小回りの利く、よりスピーディな開発と高い生産性が求められると考え、複数のツールを検討しました。その結果、当時MS-DOS版のdbMAGIC4.3(Magic eDeveloperの前身)が最もパワフルでCOBOLの2倍の生産性を持つことが確認でき、採用を決めました」

「現場主義」と「田舎主義」の 2製品をリリース

1993年にdbMAGICの採用を決定。ただちに、自社パッケージの開発に取りかかり、95年に店舗情報システム「現場主義」

と通販向け顧客管理システム「田舎主義」の2製品を完成しています。この時に自社パッケージ開発の原動力となったのが、オフコン時代に培ったシステム構築の豊富な経験と、ユーザーが何を求めているかというニーズに関する深い洞察でした。

「『現場主義』の開発に先立って注目したのが、小売店向けの商品管理パッケージが市場に皆無であるという事実でした。それは、売上規模の割に少なくない手間がかかるという小売店向けシステム特有の事情が作用していたからだと思いますが、弊社では逆に“市場にないのなら取り組んでみよう”ということになり、パッケージを開発することにしました」(中矢氏)

「現場主義」は当初、ファッション専門店向けに製品化されましたが、その後バージョン3(Windows対応)で量販店向けと文具店向け機能を追加し、さらに2004年に旧版を抜本的に作り直して、多様な業種の専門店・量販店に対応する「現場主義Ⅱ」(バージョン4)をリリースしています。

現在の最新バージョンは4.7。予算管理から売上・商品分析、メーカーや販売員の評価といった項目までカバーする総合的な商品管理システムへ成長しています。

カスタマイズ要求に きめ細かく対応できる「強み」

例えば、予算管理では「日割り予算実績対比表」「店舗別予算実績対比表」「販売員予算実績対比表」、売上日報分析では「店舗別」「店舗別部門別」「部門別店舗別」、メーカーブランド分析では「メーカー効率



USER PROFILE

MCC

株式会社 松山電子計算センター

<http://www.mccwave.co.jp/>

- 本社 愛媛県松山市三番町 4-9-12
- 設立 1970年
- 資本金 3,000万円
- 従業員数 75名(2006年6月現在)
- 事業内容

- ・ パッケージソフト販売
- ・ システム開発
- ・ 電算室運用管理支援サービス
- ・ インターネットビジネス
- 主要商品
- ・ 店舗情報システム「現場主義」
- ・ 産直通販顧客管理システム「田舎主義」
- ・ 各種医療システム
 - 富士通電子カルテシステム
 - 調剤薬局システム
 - 診療・検査予約システム
 - 院内グループウェアシステム
 - 給食栄養管理システム
 - 健診システム
 - 介護支援システム



中矢達也氏
開発部門統括
ゼネラルマネージャー

株式会社 松山電子計算センター

分析表」「メーカー別部門別分析表」「メーカー分類別店舗別分析」、商品分析・在庫照会では「全店商品分析」「商品別店舗別内訳」「移動指示入力」「商品実績情報」「単品(カラーサイズ)内訳」「店舗別単品内訳」といった機能を備え、強力なドリルダウン機能によって詳細な情報を把握できるようになっています。そして2008年2月には4.8が出荷予定で、このバージョンでは特に量販向けの各種機能を大幅に強化しています。また、「現場主義」のバージョンアップの過程では、開発・運用のベースとなるMagic eDeveloperの最新バージョンにも逐次対応してきました。

中矢氏は最近の傾向として、「スポーツ専門店が店頭でガムや飲料を販売したり、ファッション専門店が雑貨を扱ったりと、小売りの仕方に業種ごとの差が少なくなってきました。その分、商品アイテム数が多くなり、複数の商品マスタを用意することが必要になっていますが、Magic eDeveloperはそうしたカスタマイズにきめ細かく対応でき、しかも使いやすいシステムを構築できるので非常に便利です」と指摘します。

一方、「田舎主義」の方は既にバージョン6まで増強され、産地直送・通信販売に特化した管理システムとして定評を得ています。特徴は、受注・売上管理、入金・売掛管理、販売集計、顧客分析・管理、販売促進などの機能をサポートし、小規模から大規模まで対応可能な点です。

強力なRFM分析機能を備える新製品の開発へ

同社では今、「現場主義」と「田舎主義」を融合した新製品の準備を進めています。こ

れは、店頭で受注し後日配送となるような商品販売に向くシステムで、強力なRFM分析(最新購買日、購買頻度、購買金額に基づく顧客分析手法)機能を備えている点が大きな特徴です。

「ベータ版を試用したユーザーからは、高級外車の機能を国産大衆車の値段で実現しているという高い評価をいただきました。開発会社としては、Magic eDeveloperでここまでできるということを実証した、1つの到達点となる製品と考えています。Magic eDeveloperと弊社の事業は切っても切れない関係にあり、今後もユーザーの痒いところに手が届く製品を開発していきたいと考えています」と中矢氏は語っています。

商品別	品番	店舗	小分類	数量	単価	売上額	売上数	在庫日数	売価	仕入原価	仕入日付	仕入形態	表示順序	着地日付
0004510	メーカー4510	04	シャツ	36										
1133		04000	シャツ	6,900	1	42.0	78.0	18						2001/04/26
1212		04000	長袖シャツ	3,900	71	187.0	1.0							2001/05/20
0006541	メーカー6541	04	シャツ	34										2001/05/20
1042100		04000	シャツ	7,800	1	58.0	87.0	4						2001/06/12
0006541	メーカー6541	04	シャツ	28										2001/05/20
1042100		04000	長袖シャツ	9,820	28	227.0	9.0							2001/05/20
0006541	メーカー6541	04	シャツ	36										2001/05/20
1042100		04000	シャツ	7,800	0	54.0	75.0	9						2001/06/12
0006541	メーカー6541	040000	長袖シャツ	4,500	27	165.4	0.0							2001/06/12
1133		04000	シャツ	6,900	0	42.0	69.4	6						2001/06/12
0006541	メーカー6541	040000	長袖シャツ	2,800	18	122.4	5.2							2001/06/12

画面1 店舗情報システム「現場主義」の商品販売分析照会画面

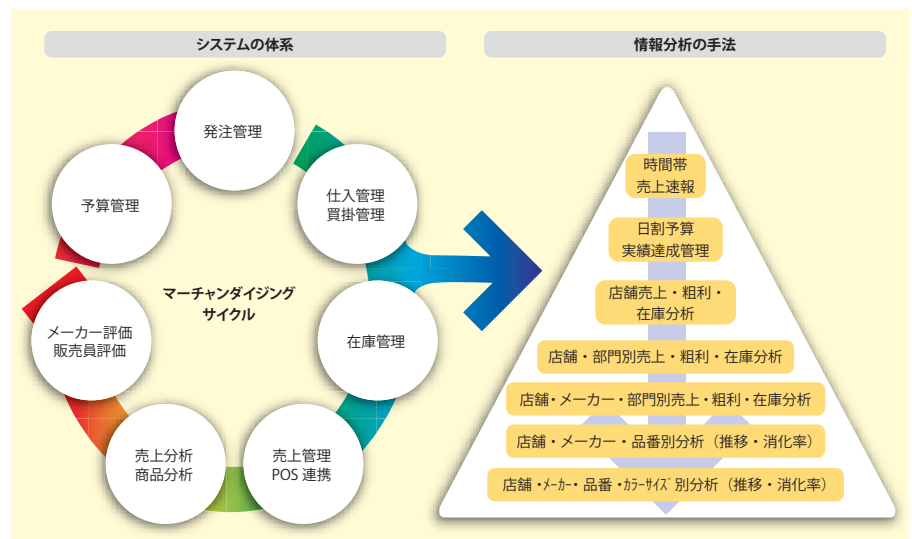


図 店舗情報システム「現場主義」の概要